

「或時の宮殿下」

41 むつの御旅

中川紀元 昭和24年(1949) 紙本墨画淡彩
本紙(第1図) 29.3×25.0、(第2図以降) 各32.9×44.5

殿下は終戦後の疲弊した国内状況に深く同情され、衣食住に恵まれない人々や傷病に苦しむ人々を支える社会福祉事業の発展に対して支援を惜しまれなかった。また、殿下は各団体に助言をお与えになるだけでなく、精力的に各地をお尋ねになって現地の人々を激励された。本画帖は、昭和24年5月に殿下が青森、岩手の国立療養所を視察された際、青森県の依頼により洋画家中川紀元(1892～1972)が同道して、訪問先の御様子のスケッチをまとめたものである。殿下のご肖像のほか、松丘療養所、七戸種馬牧場、三本木開墾地、種差海岸などを、初夏の爽やかさを感じさせる軽快な筆致で描いた全十二図が収められ、中川自身による跋文には殿下への献呈の辞が述べられている。

表紙

「松丘療養所ニテ」

(無題)

「種差海岸」

「松丘療養所園児の御歓迎」

「八戸海岸の鷗」

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

若梅に撫子——旧高松宮家と伝来の品々

三の丸尚蔵館展覧会図録 No. 62

編集 宮内庁三の丸尚蔵館

制作 株式会社 東京美術

翻訳 横溝廣子

発行 宮内庁

平成二十五年三月二十六日発行

© 2013, The Museum of the Imperial Collections